

令和元年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>文化庁の本格移転を見据えて、文化力による地域の活性化等に向けた新しい文化行政を進めます。</p>	<p>① 平成31年3月に策定した「京都府文化力による未来づくり基本計画」に基づき、文化の未来を切り拓いていくための取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際アート市場形成 アーティストフェア京都を開催するとともに、芸術と工芸（アートアンドクラフト）が一体となった国際的なフェアの開催準備を進め、文化活動を担う人づくりとアート市場形成を目指します。 ＜「アーティストフェア京都」の開催：販売成約額25,500千円（㊿：25,515千円）＞ ・文化財活用 文化財の価値や継承の大切さが広く地域の人々に伝わるよう、文化財に親しむ機会を増やすことで保存に対する認識も高まる、という文化財の「保存」と「活用」の好循環を創出します。 ＜文化財を活用した京都府関連事業数：160件（㊿：146件）＞ <p>② 本年9月に開催される国際博物館会議（ICOM）京都大会2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けて、国が進める「日本博」や、オール京都で取り組む「京都文化カプロジェクト2016-2020」を展開し、京都の文化を世界に発信していきます。</p> <p>③ 文化・環境・学術の交流発信拠点となる「北山文化環境ゾーン」の整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧総合資料館跡地に、様々な規模の劇場や練習場、展示室等が集積し、賑わい交流機能も備えた文化芸術の創造・発信の拠点整備に向けた取組を進めます。 ・昨年度取りまとめた「府立植物園100周年未来構想」を踏まえ、ゾーン全体とのソフト・ハード両面での連携推進や、柔軟で弾力的な企画及び管理運営など、来園者への魅力向上・サービス向上を目指します。 ・広場・プロムナードの整備を推進し、各施設をつなぎゾーン全体を周遊できる基盤づくりを行います。 <p>④ 文化庁の早期の全面的な移転に向けて、ハード整備を含めた準備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度中の本格移転を目指し、文化庁の増築部分及び京都府の機能を併せもつ新行政棟建設並びに現京都府警察本部本館改修に係る設計を着実に実施します。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>誰もがスポーツに携わることのできる環境を整備し、府民がスポーツに親しむ中で、トップアスリートの輩出や地域の交流促進の好循環を創出する「スポーツ王国・京都」を実現します。</p>	<p>① スポーツ活動の拠点となる施設の整備を進め、トップアスリートから一般のスポーツ愛好者に至るまで、府民の方が気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年初頭のオープンを目指して府立京都スタジアムの整備を進めるとともに、京都スタジアムを核としたまちづくりや、にぎわいづくりの拠点整備について、亀岡市と連携して取り組みます。 ・山城総合運動公園の「京都アイスアリーナ（仮称）」（令和元年秋オープン予定）の整備を進めます。 <p>② ゴールデンスポーツイヤーズを契機に、「する」「観る」「支える」の観点から府民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックや世界選手権等で活躍した京都ゆかりのトップアスリートを府内の学校やスポーツ施設等に派遣する「京のスポーツ夢バンク」について、積極的に活用していただくとともに、登録者による指導や触れあいを通じて多くの子どもたちがスポーツに対する「夢」や「あこがれ」を持ち、親しんでいただけるようにします。 ＜夢バンク登録：128人、事業実施数：30件（㊟：126人、24件）＞ ＜障害者のトップアスリートと子どもたちとの交流事業実施数：5件（㊟：5件）＞ ・「京都トレーニングセンター」における医科学的なトレーニング指導によりジュニアアスリートをサポートし、未来のオリンピック・パラリンピアンを目指す子どもたちの夢を応援するとともに、障害者や中高年層に、それぞれのニーズにあったトレーニングを提供し、スポーツに親しむ人口を増やします。 ＜京都トレーニングセンターの利用者数：12,000人（㊟：10,430人）＞ <p>③ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に、府域全体でのスポーツ振興、スポーツによるまちづくりの機運醸成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック聖火リレーの実施に向けた準備等を進め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて開催の機運を高めていきます。 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催市町における市町実行委員会の設立・運営や実施計画作成に向けた助言とともに、広報活動などを実施し、参加者を確保するなど、大会開催に向けた準備を進めます。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>子どもたちが安心して修学できる環境を整備します。</p>	<p>① 体罰、いじめ、中退、不登校事案の減少・根絶や、子どもたちの自立に向けた対応を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府私学修学支援相談センターが実施する保護者・生徒への相談や、不登校者に対する学習支援・居場所づくりの取組を支援します。 ・いじめの未然防止、早期発見・解決のため、私立学校（小・中・高）に対するネット監視事業やスクールカウンセラーの設置補助等を実施し、学校におけるいじめ防止や初期対応の強化のための取組を支援します。 <p>② 私立高校生等が経済的事情で学業を断念することがなく、安心して修学できる修学環境を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して修学できる「あんしん修学支援制度」による支援を実施し、私立高校の経済的理由による中退者をゼロにします。 ・京都府高等学校修学金（貸付金）の滞納を減らし、制度を持続可能なものとするため、各学校と連携して、在学時における制度周知・生徒指導を進めることで、滞納の未然防止を徹底します。 <p>③ 多様なライフスタイルや女性の活躍に対応するために、預かり保育や長期休業預かり制度の充実など、総合的な子育て支援施策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未入園児一時保育事業（在宅2歳児親子登園支援事業、地域の子育て家庭の育児や幼児教育の相談、幼稚園と地域の非営利団体が連携した保育・体験学習の実施等）を充実し、地域の子育て力を強化します。 <未入園児一時保育事業：147園（③⑩：130園）、預かり保育等：139園（③⑩：139園）> <p>④ 幼児教育の負担を軽減するため、国と連携し、幼稚園の無償化を進めます。</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
4	<p>大学・学生の力を活かした地域の活性化に取り組むとともに、京都府公立大学法人第二期中期目標に基づき、府立医科大学・府立大学の取組みを支援します。</p>	<p>① 京都の成長戦略の核となる大学の資産を活かし、大学・学生と市町村が連携することにより、地域の活性化や大学・学生の成長・発展を目指す「京都のまるとキャンパス化」に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学と市町村との連携事業「1まち1キャンパス事業」のプロジェクト数や参加学生数を増加させることにより、地域を学びの場とする大学を府内各地で活性化します。 <プロジェクト数：20プロジェクト（③⑩：18プロジェクト）、参加学生数：延5,000人（③⑩：4,689人）> ・京都学生祭典への参加学生数を増加させることにより大学間連携を充実・強化し、「大学のまち・京都」の魅力を広く発信します。 <参加学生数：2,000人（③⑩：1,595人）> <p>② 府立医科大学附属病院において、「世界トップレベルの医学を府民の医療へ」を目指して、陽子線等による最先端のがん治療や研究を進めます。また、府立医科大学附属北部医療センターが、北部地域における中核病院や医学教育・臨床研究の拠点としての役割を果たすために、医療提供体制の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永守記念最先端がん治療研究センターにおいて陽子線治療等を行うとともに、陽子線治療費への府民助成を実施します。また、次世代ホウ素中性子捕捉療法の研究に向けて、企業と共同研究を進めます。 ・高度で安全な医療を府民へ提供するため、病棟の建替を含めた大学及び附属病院施設全体の整備構想を検討します。 ・丹後医療圏で初となるがんの診断から治療までを一体的に実施する「がん診療棟」の整備を進めます。 <p>③ 府立大学において、京都の知の拠点として和食文化や京都学等の教育・研究を推進するとともに、地域に貢献する大学として役割を果たすため教育環境の充実・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和食文化学科」において、和食文化の保護・継承・発展とともに、その知見を国内外に発信できる創造性豊かな人材を育成します。 ・府内各地の様々な課題の解決に向けて、市町村、住民団体等と共同して調査・研究を行う「地域貢献型特別研究（府大ACTR）」を実施するとともに、その成果を広く府民に情報発信します。 ・少子高齢化やICTの進展など社会経済情勢の変化や大学改革の動きなどを踏まえ、新生府立大学を創造するための、「府立大学の将来構想」の基本案をとりまとめます。 ・北山文化環境ゾーンの整備との整合性を図りつつ、「京都府における知の拠点」「開かれたキャンパス」の構築に向けて、学部再編や安心・安全、最新の教育・研究環境の整備充実にも対応したキャンパス整備基本構想を策定します。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。